

総務常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和5年12月14日(木) 第2委員会室
2. 出席委員 桂藤和夫委員長 坪田朋人副委員長 谷口隆明 坂本義明 福山権二 國利知史
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 山崎啓介議会事務局主任
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 意見書について
 - 2 その他

午後4時2分 開 議

○桂藤和夫委員長 ただいまから総務常任委員会を開会いたします。この会議におきまして写真撮影、傍聴、録音録画を許可しております。

1 意見書について

- 桂藤和夫委員長 本日の協議事項ですけれども、1点目、意見書について、まず谷口委員より御説明いただければと思います。
- 谷口隆明委員 今パレスチナで人道的に非常に危険な状況になっています。各自治体は大体決議が多いのですけれども、決議の場合は、即刻停戦するよという直接の要望です。この意見書は、三次の意見書もそうなのですけれども、政府に対して要望をしようと。実はきのうの朝、国連総会がありまして、そこで183の国が賛成して、直ちに停戦をしないと大変だということで決議しています。日本政府も、11月のときは棄権したのですけれども、今回はやはり停戦しないとイケないと、賛成に回って可決されています。日本政府はずっと歴史的にイスラエルにもパレスチナにも肩入れをしてこなかった。どちらからも信頼をずっとつくってきたということなので、日本政府はその独自性を発揮して、国際社会で憲法9条を持っているし、停戦や人道的支援の速やかな実施に向けて、そういう議論をリードすることができるのではないかと。イスラエルとハマスに対して、テーブルにつくように政府として強く呼びかけてほしいという意味の意見書にしております。決議するか、意見書にするか、いろんな自治体5つ6つ見ましたが、目的によって違ってきます。庄原の場合はそういうスタンスでやったらどうかということで、各自治体の決議、意見書、それから中国新聞やいろんな報道を見ながらまとめたものです。以上です。
- 桂藤和夫委員長 ただいま谷口委員より説明いただきましたけれども、意見書の提出について委員の皆様御意見を伺いたしたいと思います。いかがでしょうか。副委員長。
- 坪田朋人副委員長 原案賛成ではあるのですけれども、少し気になっている点があって、記の少し上、最後のほうの行に、日本政府は各国政府や国際機関とともにガザにおける人道的大惨事を回避するた

めの緊急の行動をとることを求めるものであるということで、今回の意見書の1番言いたいところが、人道上の大惨事を回避するためのものになっています。そこの何が1番言いたいのかを決めていきたいというか、これでいいのかどうかの確認をしたいと思います。

○桂藤和夫委員長 谷口委員。

○谷口隆明委員 ここへ書いているようにイスラエルの死者は10分の1なのですね。今、千幾らです。ガザの場合、閉じ込められた小さいところに対して攻撃するのは、民間人も含めて、あるのがおかしいのですけれども、戦争法というかジュネーブ条約、いろんな戦争法律でそういうことはしてはいけないことになっています。人道的に、今、国連の事務総長も言っているように、危機的状況だと。医療機関も全部電気がとまって、もう帝王切開も麻酔なしでしないといけないとか。本当に人道的に大問題なので、それを回避するために停戦するというにしないと。イスラエルとパレスチナは歴史がすごく古く、第1次中東戦争からずっと、いろんないきさつがあって、イスラエルがどんどん進出してずっとパレスチナ人が追い込まれてきました。30年40年歴史がある中で、難しいので、とにかく人道的にも停戦をしないといけないというスタンスでいくしかないのかなという思いです。

○桂藤和夫委員長 副委員長。

○坪田朋人副委員長 これを否定するとかではなくて、この文言では人道上の大惨事を回避するためということになってしまっているの、僕の中では、下記の事項を強く働きかけるために、紛争の平和的解決に全力を尽くしてほしいみたいな形にしたほうがいいのではないかなと思っただけです。言い回しの問題で。

○桂藤和夫委員長 他の委員の皆さんの御意見何かありますか。福山委員。

○福山権二委員 賛成で出すべきだと思います。日本国内で各自治体の議会がたくさんこの意見書を出しているという状況も聞きますし、こういうものを今、きちんと議会として表明しておくというのは、非常に大事ではないかと。政府がしたことについても、もう日本全国でそれが賛成だという表明をすることになります。政府が国連でも賛成の決議にまわったということで、日本国内では恐らく反対する人はいないと思うので、ぜひやったほうが良いと。イスラエルは、小学校のころから、ナチスに迫害されたということをずっと勉強させて、ナチスにやられた、600万人が殺された、そのやり方は、よそとは比較できないと。皆殺しにしようということで、使っているのはアメリカの最新鋭の武器。そこはアメリカにすれば最新鋭の武器の見本市みたいになっているので、あそこで使った武器がまた世界で売られていることもあったり、24時間操業でアメリカの武器をイスラエルでつくっているということもあったりして、これを出すのは物すごく大事なことだと思います。12月8日は、ハワイで開戦したと同時に、シンガポールと香港へ侵略した日でもあり、日本も同じようなことをした歴史があります。そのあたりも含めて、これは非常に大事な意見書だと思うので、賛成です。

○桂藤和夫委員長 ほかにありませんか。それでは総務委員会におきましては、意見書案を提出したいと思えます。よろしいでしょうか。國利委員。

○國利知史委員 もちろん賛成なのですが、言い回しのところで、ハマスによる無差別攻撃や人質は国際法違反であり、人質は即時に開放することを強く求める。ここで求めているではないですか。これはどうなのかなと思っていて、もし求めるのなら、この記の下にくるのかなと思っただけです。ここが少し気になるかなと思いました。

○桂藤和夫委員長 ほかに、御一読いただいて、この辺を少し直したらいいのではないかとこのところ

があれば。副委員長。

○坪田朋人副委員長 先ほど國利委員さんも谷口委員さんも言われたように、ハマスの後に、他方、イスラエルは、となっているので、同様の文言がきたほうがいいのかと思います。現状だと、ハマスに対しては強く求めるというのが入ってしまっているのです、その現状はこうだという対比だけにとどめるというか、庄原市としてどういう立場でやっていくのかもはっきり明確にしないといけないと思います。

○桂藤和夫委員長 このように修正をしたいという案がありますか。

○坪田朋人副委員長 人質のところに入文を入れるか入れないかを決めないといけない。入れないのであれば、バランスは取れるのです。ハマスは国際法違反、イスラエルはジュネーブ諸条約などで禁じられている行為をしていると均等を取れるので、人質を即時に開放することを求めるのであれば、國利委員さんが言われたように記のところにを入れる形のほうが…。日本政府に今回求めているので、人質に関してどういう扱いにするかを僕もまだ決め切れていません。案をいただきたい。

○桂藤和夫委員長 國利委員。

○國利知史委員 人質が即時に開放されるように働きかけるとかでもだめなのですか。記の下の部分に。

○坪田朋人副委員長 そうしたらイスラエルにも働きかけてもらったほうがいい。

○桂藤和夫委員長 人質はという後半の文章は削って、圧縮するか。

○坪田朋人副委員長 ただ、意見書として谷口委員さんの思いがあると思います。

○谷口隆明委員 片方で書くわけにいかないと思って書いたのですが、表現はどうしたらいいか。人質をとっていることが最大の原因で、イスラエルも攻撃しているわけですから、やはりあったほうがいいのかと思うのですが、表現が…。

○桂藤和夫委員長 福山委員。

○福山権二委員 双方は人質として拘束している人々を即時開放するべきであるとか。短い文章の中でたくさん入っているの、間違いではないけれども、もっと正確に言うと、いろいろ手を加えないといけないかもしれない。

○桂藤和夫委員長 正副委員長が案をつくり、皆さんにまた御提示をさせていただいて、最終的にそれでいいかどうかの判断をしていただいた後、総務委員会からの提案ということで意見書を出そうと思います。それでよろしいでしょうか。

〔「はい」 との声あり〕

○桂藤和夫委員長 そのようにとり扱わせていただきます。事務局。

○山崎啓介議会事務局議事調査係 今で言いますと、もう一回あした委員会を開く形になりますか。委員会を開かないのであれば、委員長副委員長に任せていただいた上で、細かい調整は委員会の外でされるということでも大丈夫かなと思います。

○桂藤和夫委員長 委員会をせずに、つくらせていただいて、あした本会議の後に、見ていただいて、多少意見を聞いて、最終意見書としてまとめさせていただくという方向でいいですか。

○坪田朋人副委員長 案をつくったものは、どういう形であれmore NOTEに載せられますか。

○山崎啓介議会事務局議事調査係 それは可能です。

○桂藤和夫委員長 福山委員。

○福山権二委員 一任するので、やってください。

○桂藤和夫委員長　　そういう形でさせていただきますので、よろしくお願ひします。以上で本日の委員会を散会します。

午後4時17分　　散　　会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委員長